

東京平和映画祭

Day 3
9/23祝

マスコミや商業映画が知らせない事実を、主にドキュメンタリー映画上映で伝えてきた東京平和映画祭が10周年を迎えます。今年は特別企画として、ワークショップも行います。感じて、伝えて、つながることから、平和で持続可能なコミュニティを目指しましょう。あなたのご参加を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

映画祭は再入場自由です。*入場時にチケットの半券をご提示ください

9:30開場 10:00開演 20:05終了予定
映画上映と講演@カルチャー棟大ホール(定員758)

“感じる・伝える・つながる 映像の力で!”

10:00 『福島へようこそ』

監督:アラン・ド・アルー /2013年/ベルギー /59分/日本語字幕
ベルギー人監督による美しくもせつない映像。一見平和な日常から透けて見える不安に満ちた未来。マスクの若者は言った。「もしかしたら僕たち、国から実験台にされているのかな」

11:05 鎌仲ひとみの映像&トーク(60分)

12:05 『憲八おじさんとタマ』+監督トーク

監督:中村徹 /2013年/15分

憲法の危機に、タマが立ち上がる!立憲主義とは? 96条改正とは? 自民党憲法改正草案とは? アニメで、憲八おじさんと一緒に学びましょう。

13:25 『医原死一死の医療ビジネス』

監督:ゲーリー・ヌル /2011年/アメリカ /99分/日本語字幕

米国では医療のせいで毎年78万人も死ぬ。製薬会社が、病院、医学研究・教育・情報を握り、議会や政府を動かす、利益最大化のために医療制度を支配する。金儲けが積極的に病気を作り出し、死を招く実態を追う。いのちの本質や食べ物の大切さを忘れた病める闇の世界からの警告。病める大国アメリカが迫るTPPの前に、私たちの選択を再考させられる作品。

15:20 『食の未来』

監督:デボラ・クーンズ・ガルシア /2004年/アメリカ /90分

/日本語吹き替え

農場から食卓まで大企業が私たちの食を世界的規模で支配する。その支配の仕組み、生命を操作する遺伝子組み換え技術とは。巧みな情報操作でその本質は隠され続ける。その歴史的経緯と、科学的農業や食、そして政治に及ぼす弊害を多面的に描いたドキュメンタリー。

16:50 堤未果氏 講演(30分)

17:35 『カンタ!ティモール』

監督:広田奈津子 /2010年/日本・東ティモール /110分

日本が深く関わりながら、ほとんど報道されなかった東ティモール。1999年までの24年間で人口の3分の1を失う狂気の殺りくを受ける。その影で動く地下資源ビジネス、日本政府の驚くべき行動。消えない悲しみを抱きながら、それでも「許し」を選択した人々の、知恵と愛にあふれた作品。

19:35 田中優氏 講演(30分)

20:05 閉会



福島へようこそ



憲八おじさんとタマ



食の未来



医原死一死の医療ビジネス



カンタ!ティモール



Day 1
9/21土

13:00開場 13:30開演 18:30終了予定
映画上映と講演・対談@センター棟#417(定員300)

“これでいいの?日本!
~知られざる支配の構図”

世界中で話題の『ショック・ドクトリン』(原作:ナオミ・クライン)。大企業や国家はいかに弱者を支配するシステムを作り上げたのか。近代史を紐解けばその構図が見えてくる。TPP参加や憲法改正で日本はどう改造されるのか。外交の表と裏を知る孫崎亨氏とともに考える。

13:35 『あぶない憲法の話』

解説:小森陽一 /2013年/25分

本性を小出しにする安倍政権が「改憲手続き」の変更を主張する本当の狙いは何なのか。自民党は憲法本体をどう変えたいのか、その危険な中身とは。小森陽一氏(九条の会事務局長)による、現憲法と自民党草案を比較した解説映像。

14:00 『ショック・ドクトリン』

監督:M.ウィンターボトム、M.ホワイトクロス /2009年/英 /80分/日本語字幕

頻発する津波やハリケーンのような天災、あるいは人為的に招かれた戦争や政変。危機に瀕し茫然自失する人々。その隙をついて大国と巨大資本が、過激な市場原理主義経済へと一気に改変するという「ショック療法」は、世界に何をたらしたか。

15:40 『戦争案内』

監督:高岩仁 /2006年/70分

明治以来日本が起こした戦争は、いったい誰がなぜ始めたのだろうか?アジア各国への長年の取材と多くの資料から見えてくる戦争の本質とは。多国籍企業によるアジア侵略の社会構造的な原因を鋭く追究する。

16:55 孫崎亨氏 講演(50分)

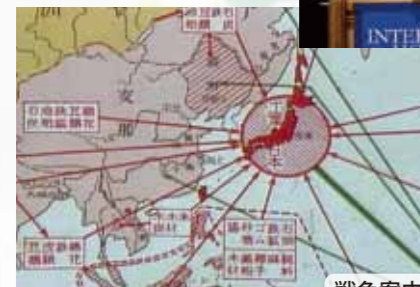
17:45 孫崎亨氏×きくちゆみの対談(45分)

18:30 終了

あぶない憲法の話



ショック・ドクトリン



戦争案内

Day 2
9/22日

11:30開場 12:00開演 20:00終了予定
映画上映と2つのワークショップ@センター棟#501(定員200)

“原発被災の今 ~知って深まる理解
結んでみなぎる力”

3.11原発事故から2年半。「原発事故子ども・被災者支援法」は、1年経っても棚ざらし。それでも懸命に生きる福島の人たちがいる。力になりたい、原発をなくしたいと願う人たちもいる。語り合い、共感し、つながれば、生きる力が満ちてくる。

12:00 『福島 六ヶ所 未来への伝言』

監督:島田恵 /2013年/105分

あなたが未来へ託すのは、いのちのボタン? それとも放射能という「負の遺産」? 原発事故が起きた福島と使用済み核燃料を再処理する六ヶ所村。その地で暮らす人々の生活と思いを描き、3.11後を生きる私たちに問いかける。



14:10 福田健治氏(弁護士)と福島の女性たちの
パネルトーク~小グループでの話し合い

15:50 休憩10分



福田健治(ふくだ・けんじ) 弁護士。日本弁護士連合会東日本大震災・原子力発電所事故等対策本部原子力プロジェクトチーム委員。「福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク(SAFLAN)」副代表。

“どう生きる?新しい汚染の時代を
~放射能、添加物、遺伝子組み換え食品...”

放射性物質や遺伝子組み換え食品で私たちの体が「汚染」される時代。様々な安全基準が緩められる中、私たちは何を食べ、どう身を守るのか?事実を知り、アイデアや知恵を共有して「どうしたらいいの?」から「こうしてみよう!」へ一歩を踏み出してみませんか?

16:00 『サイエンティスト』

監督:ペルトラム・フェアハーク /2010年/ドイツ /60分/日本語字幕

遺伝子組み換え食品の危険性を公表した二人の著名な科学者。隠蔽したい多国籍企業と米・英政府の恐るべき反撃とは。企業の国家支配は市民生活を脅かす。食の安全、科学の自由、そして生き物の未来を問う。



17:10 河田昌東氏、安田節子氏パネルトーク
~小グループ討論~全体シェア会

20:00 終了



河田昌東(かわた・まさひろ) NPO法人「チェルノブイリ救援・中部」理事。「遺伝子組み換え食品を考える中部の会」代表。チェルノブイリ原発事故の放射能汚染地域に入り、医療救援活動や汚染農地再生に注力。3.11原発事故後は福島で活動中。



安田節子(やすだ・せつこ) 「食政策センター・ビジョン21」主宰。NPO法人「日本有機農業研究会」理事。遺伝子組み換え食品や食品表示など食糧の安全問題に長年関わる。現在はTPPや放射能汚染問題でも積極的に発信している。